

## これまでの教育活動を振り返って

校長 川畑 伸一郎

かねてより本校教育活動に対しまして、南大隅・錦江両町から物心両面において多大なご支援をいただき感謝申し上げます。

本校赴任以来、「地域に愛され信頼される学校」をスローガンに掲げ、職員・生徒、PTA・同窓会、また地域の方々と力を合わせて学校づくりに取り組んで参りました。多くの方々からお力添えをいただき、おかげさまで地域活動等を通じて一定の成果が出ているのではないかと自負しています。

校内においては、細やかな全体指導やスクールカウンセラーの御協力による生徒指導、基礎学力向上・キャリア教育・資格取得等の推進による進路指導、PTAの御協力により土曜日に開催した文化祭など、教育活動の推進・改善に努めてきました。

また、地域においては、ドラゴンボート大会や佐多岬マラソン大会等のスタッフ協力、園児や高齢者との交流、南端町づくりでの地域清掃ボランティア活動など、機会を捉えて地域の方々との交流を深めています。今後、小中学校とも一層交流が深まるようにしていきたいと考えています。

これからも、町民の皆さまのご支援をよろしくお願いいたします。

## 避難訓練

12月2日（金）火災を想定した避難訓練を実施しました。火災時の対応として窓を閉めて避難することが一部出来ていないと消防署から指摘を受けましたが、日頃から緊急時の対応を訓練しておく必要性を実感しました。また、初期消火の重要性について説明を受け、代表生徒6名が消火訓練をしました。



## 家庭クラブボランティア活動



12月4日（日）、第11回佐多岬マラソン・31度線ウォークが開催され、大会スタッフボランティアとして本校から19名の生徒が参加しました。

当日は、県内外から約1,000人が参加、生徒は受付やゴール地点でのチップ回収、選手誘導、完走証の発行などの手伝いをしました。

また、数名の生徒が選手として参加し、3年橋口俊彦君は10マイル(16km)レースに参加し、2位でゴールしました。



## 人権同和教育講演会

12月6日（火）、人権週間に合わせて、星塚敬愛園入所者の玉城しげさんとNPO法人「共に歩む会」代表の松下徳二さんを講師に迎え、「ハンセン病問題とわたしたち」という演題で講演会を開催しました。

ハンセン病問題の経緯と入所時の壮絶な体験談を聞くことができ、多くの知らなかった事を学ぶことができました。ハンセン病問題について理解を深めるとともに、普段の不勉強や無理解が差別につながる事、人の痛みを自分の痛みとして理解する心を持つことが大切であることなど、普段の生活を見直す良い機会になりました。

